



そして改革は続く...

党改革の歩みと今後の課題

平成17年10月26日

自由民主党 党改革実行本部

なぜ「党改革」なのか

- 中選挙区から小選挙区比例代表制へ
- 自民党候補同士が競う選挙から、政党間の戦いへ
- 「政党」のイメージがますます重要に

党改革の必要性

クローズド
古臭さ
不透明

オープン
若さ・新しさ
透明・公正



党改革実行本部の看板掛け

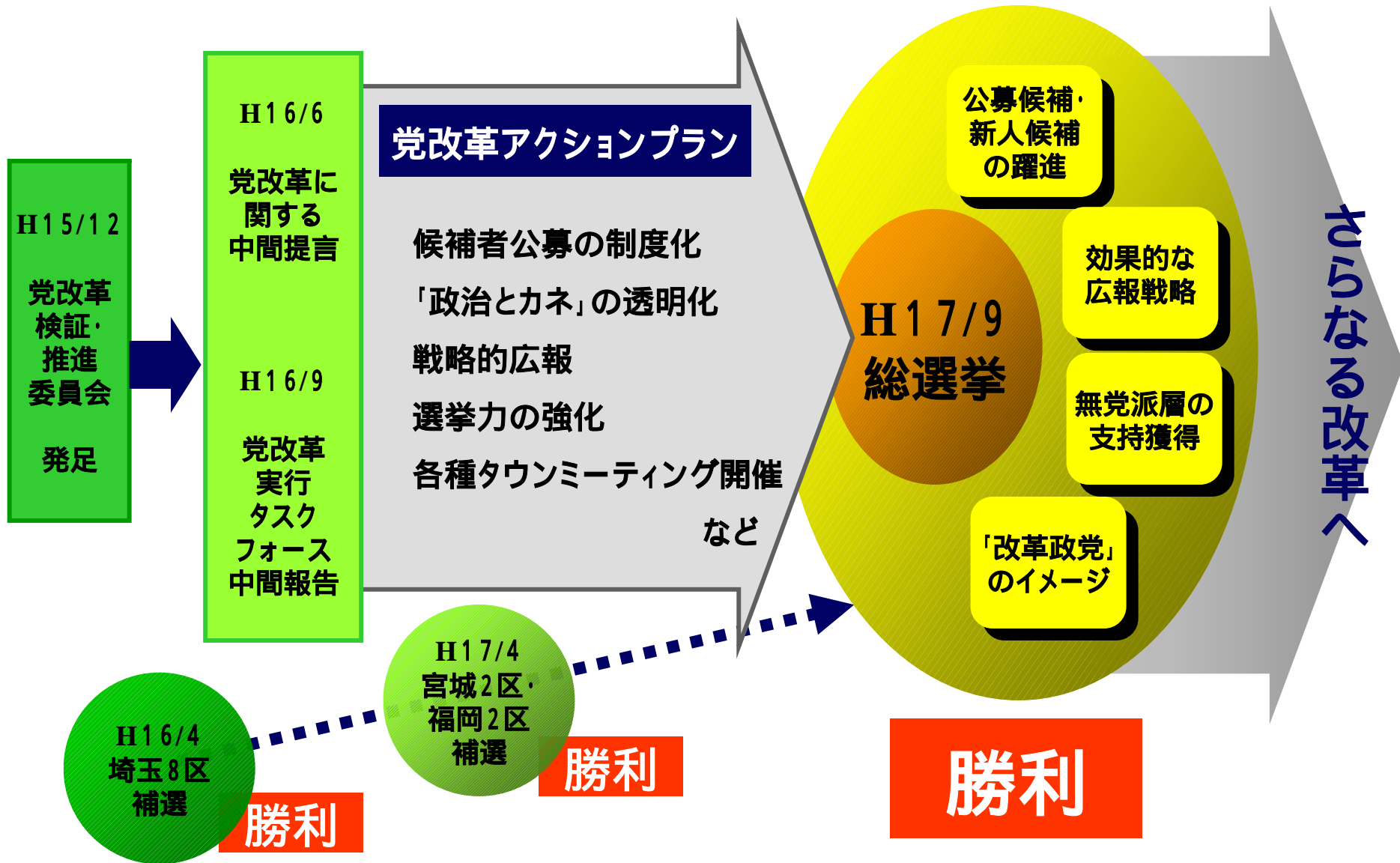


有楽町での街頭演説

党改革のプロセス

- H13/4 小泉純一郎総裁 誕生
- 7 第19回参院選
- H15/9 総裁選挙で小泉総裁を再選(幹事長:安倍晋三)
- 11 第43回総選挙
- 12 「党改革検証・推進委員会」(委員長:安倍晋三幹事長)が発足
- H16/4 衆院埼玉8区補欠選挙にて党本部初の公募候補が勝利
- 6 「党改革に関する中間提言」を発表(6部会)
- 7 第20回参院選
- 9 「党改革実行タスクフォース中間報告」を発表(8部会へ)
- 9 内閣改造・党役員人事
- 10 総裁直属の「党改革実行本部」(本部長:安倍晋三幹事長代理)が発足(14部会へ)
- 12 候補者公募制度基本方針を決定、公募制度管理委員会が発足
- H17/4 宮城2区補欠選挙で公募候補が再び勝利
- 9 第44回総選挙 歴史的な大勝利を果たす
- 10 党改革の総括と今後の課題について総会を開催(16部会)

党改革のプロセス



党改革実行本部 16部会

部会の名称

候補者選考プロセスの改善

政治資金の一層の透明化

政治資金規制法改正

党内人事のあり方の改革

戦略的広報体制の確立

友好団体との関係再構築

新たな業界・団体との関係構築を図る

「無党派層」対策の強化

対女性政策

働く人々との連携強化

シンクタンク創設

県連・支部改革

選挙力の強化

党員募集・党費のあり方

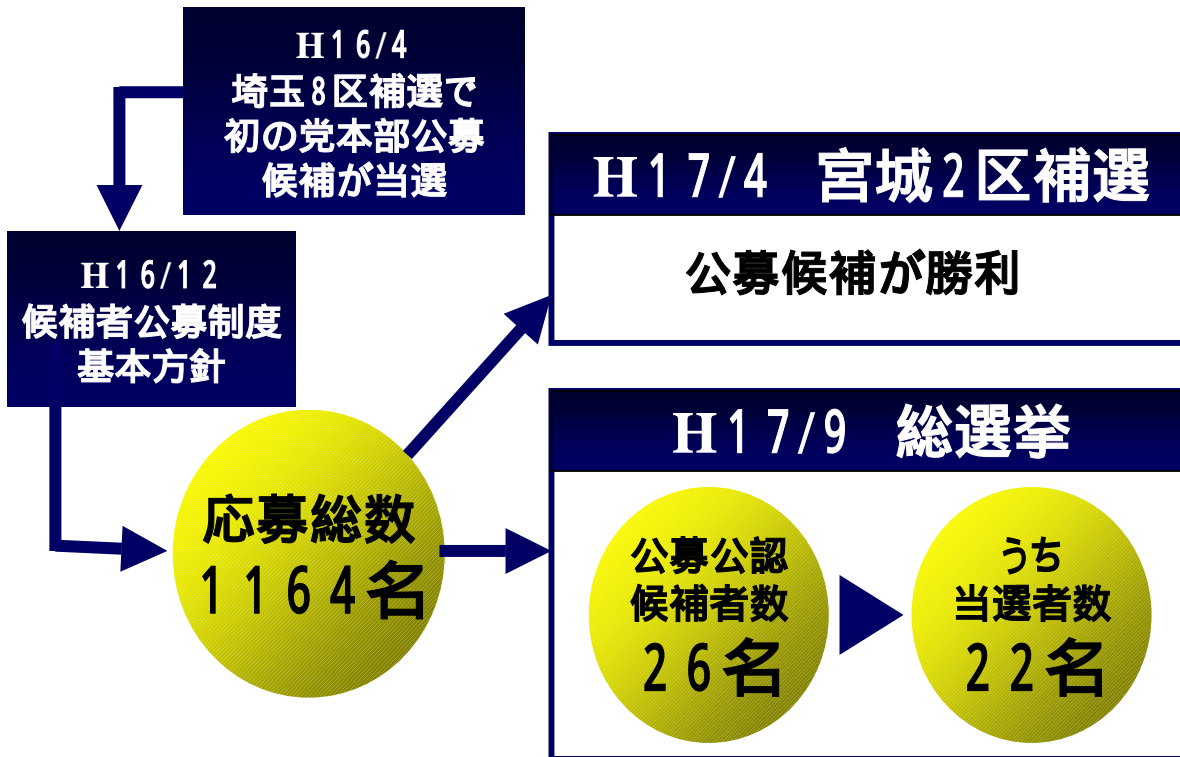
党本部機能の強化

議員年金

これまでの主な成果

候補者公募 開かれた自民党を目指して

- 第44回総選挙では、18都道府県に26名の公募公認候補を擁立。
- うち22名が当選を果たす。



候補者公募 多様な人材・若さ

企業経営者 2名

松下政経塾 2名

農協会長 1名

銀行員 1名

航空会社社員 1名

NPO法人勤務 2名

弁護士 2名

経営コンサルタント 1名

家電メーカー社員 1名

財務省職員 1名

PTA会長 1名

エコノミスト 1名

公認会計士 1名

産業再生機構職員 1名

教育長(東京都青ヶ島村) 1名

青年会議所理事長 1名

H17/9 総選挙
党公募候補26名
平均年齢
39.7歳

候補者の代表的な経歴
年齢はH17/9/26現在

戦略的広報の展開

- 一元的広報体制を構築するため「コミュニケーション戦略統括委員会」(委員長: 根本匠広報本部長)を発足
- プロの広報ノウハウを活用するため、民間コンサルタント会社を導入
- 広範なメディアを対象に、プレスリリース配信で積極的に情報発信
- 候補者公募で新聞広告を展開
- 立党50年ロゴマークを制定
- 総選挙(H17/9)期間中、挙党体制の「コミュニケーション戦略会議」を中心に戦略的な広報活動を実施



㊦立党50年ロゴマーク
㊧立党50年党ポスター
を発表する根本匠広報
本部長㊨先の総選挙向
けポスターの発表会見



新たな業界・団体との連携強化

■ 「現場」に行く、生の声を聴く、議論する → 「等身大」の自民党へ

◆ ニューフロンティア・タウンミーティング

- 新たな成長企業等との連携を目指して
- 東京、仙台、福岡で計4回開催
- 松井証券・松井社長、エイチ・アイ・エスの澤田会長らをゲストに

◆ NPO・NGOタウンミーティング

- NPO・NGO団体との協力を探る
- 全国各地で計10回開催

◆ 障害者福祉タウンミーティング

- 障害者団体との関係を深化
- 福岡、札幌、三重などで計6回開催



㊤ニューフロンティア・タウンミーティング ㊦障害者福祉タウンミーティング



「無党派層」へのアプローチ

■ 若者や女性と、ともに政治を考える

- 大学サークル主催イベントへの議員の派遣
 - 早稲田大学
- 大学への講師の派遣
 - 嘉悦大学短大、独協大学、日本大学
- 学生との対話集会(福岡市)
- 学生討論大会
- 街角ストリート・トーク・ライブ(若年無党派層対策)
- 幼稚園で母親との対話集会



④都内の幼稚園で若い母親たちと対話する安倍晋三幹事長代理 ⑤党本部で開催された学生弁論大会 ⑥仙台市での街角ストリート・ライブ



参加・公開型の政策立案

■ 党女性局 子どもHAPPYプロジェクト

● 結婚・出産・子育て支援の政策立案プロジェクト

全国7,711名にアンケート調査

アンケート結果をもとに政策提言 立案を目指す

すべてのプロセスを党ホームページで公開、“ガラス張り”に

● 国民参加・公開による新たな政策立案プロセスを実施

● 「100人の赤ちゃんプロジェクト」(今年11月実施予定:赤ちゃん和妈妈100組が党本部に集合)



より透明でクリーンな政党へ

■ 政治資金の透明化と、個人献金促進のために

- モチ代・氷代の廃止
- 政治献金の受領を銀行振込に
- 資金管理団体の収支報告書要旨を党ホームページに掲載
- 収支報告書の残高証明と監査意見書を党に提出義務付け

■ 法令遵守の徹底のために

- 専任弁護士を配置した「コンプライアンス室」を党本部に設置
- 公選法など法令遵守について、議員や秘書に対する研修会を2回実施
- 党所属国会議員・地方議員に「ルールブック政治活動Q&A」を配布



㊦コンプライアンス室の立ち上げ ㊦法令遵守徹底のため党所属議員に配布した「ルールブック政治活動Q&A」 ㊦党主催の「コンプライアンス研修会」



その他の主な成果

■ 選挙力の強化

- 公募決定候補者や当選回数のない議員を対象にセミナーを開催
- 選対司令塔機能の強化

■ 党内人事のあり方

- 人事評価委員会の設置と希望役職自己申告制度の拡充を提言

■ 女性対策

- 政策立案力強化のため全国県連に女性だけの政策審議委員を任命



④選挙力強化セミナーでの森喜朗前首相
①希望党役職の自己申告用紙

自己申告書	
	平成
議院議員	氏名
希望する役職(副大臣、政務官、常任委員長(議連を))	
第	①役職
一	②関連する過去の実績
希	③希望する理由
望	<ul style="list-style-type: none"> - 現在までの取り組み - 自身が主体的役割を果たして達成した実績(委員経験等) - 今後取り組むたい政策課題

今後の課題

■ シンクタンク創設

- 官僚依存型の政策決定を見直すため、日本の政党では初のシンクタンク創設を準備中

■ 党本部機能・地方組織の強化

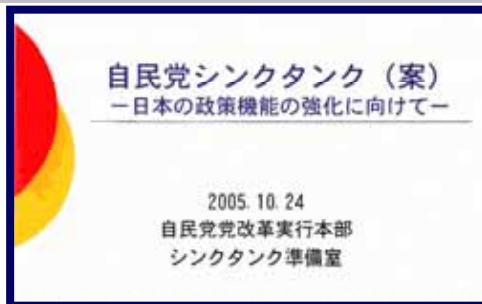
- 党職員・秘書へのアンケート結果をもとに小選挙区制に適應した党組織改革を検討

■ 無党派層対策

- 全国での学生部設置、インターン制度実施を準備中

< その他 >

- 候補者公募での新人チャレンジ制度の検討
- 個人献金の促進
- 各種タウンミーティングの全国展開
- 女性候補者の発掘・育成
- 戦略的選挙対策機能の組織化
- 広報関連組織の本格的な見直し
- 客観的人事評価のための人事評価委員会の立ち上げ
- 効果的な党員獲得法の検討
- 党費(4000円)の再検討
- 党本部・県連の間的人事交流
- 県連・支部や党所属地方議員への政策情報の効果的な発信
- 市町村合併に対応した地方組織のあり方の検討
- 労組との政策対話促進



㊤党職員や秘書から寄せられたアンケート ㊦シンクタンク構想

そして改革は続く...